

平成31年度 照隅認定こども園 事業報告

近年、少子化、高齢化や都市化、過疎化また核家族化の進展などの人口構造の急激な変動や女性の社会参加の増加などによる社会環境の変化は、子どもの育ちと子育てに様々な影響を及ぼしています。

核家族化の進行により、家族では親から子へと受け継がれてきた子育ての知識などが伝わりにくくなり、つながりが弱くなった地域社会は子育てを支え合ってきた文化を失いつつあります。

子育てに不安を抱く親への支援や児童虐待への対応など、子ども・子育てをめぐる社会的な課題はますます大きくなってきています。特に子育てが孤立する中、若い親に知恵を与えてくれる人が身近にいない結果として、たどりつくプロ集団が認定こども園や保育園であり、その役割は大変重要なものとなっています。また都市部では待機児童問題、地方では子どもの人口減少があり、認定こども園はどちらの場面でも、かつてなかったような役割を担わなければならなくなっています。保育所保育指針の改訂や幼児教育・保育の無償化など、子ども・子育てをめぐる環境は今なお大きく変化し続けています。

当園にとっては、そのような状況を踏まえ、保育所型認定こども園と変わった今、より地域社会の要望に答えていくため、また今まで以上によりよい教育・保育を実践すべく、以下の事業内容を実施しました。

【内容】

	重点実施項目	実行計画	実施結果
地域 貢献 の 視 点	1. 子育て家庭への保育園機能の開放	1. 毎週1回（開放のみ）毎月1回（保育あり）の園庭開放、毎月1回のすくすく子育て教室の実施	1. 毎週の園庭開放は48回の内、8回利用があり、延べ16名、毎月の園庭開放は計12回実施し、延べ95名、すくすく子育て教室は計4回実施し、延べ32名の利用があった。
	2. 子育て等に関する相談や援助の実施	2. 随時相談を実施。園庭開放、すくすく子育て教室時も実施	2. 園庭開放・子育て教室時に実施した。（年間12回）
	3. 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進	3. 毎週1回（開放のみ）毎月1回（保育あり）の園庭開放、毎月1回のすくすく子育て教室の実施、地域交流のための公共の場における絵本の読み聞かせ会（出前保育）の実施	3. 毎週の園庭開放（年間48回の内、8回利用があり、延べ16名）、毎月の園庭開放（年間12回延べ95名）、子育て教室（年間4回延べ32名）、出前保育（梅津北児童館へ年間3回）実施した。
	4. 地域の子育て支援に関する情報の提供	4. 掲示板による、子育て情報の掲示	4. 地域の子育て家庭に対し、実施した。（年間12回）（やんちゃフェスタ・京都市絵画展・地域の地蔵盆案内・消防図画・ポスター募集・安心救急ネット京都・京都市シェイクアウト訓練・受動喫煙防止案内サイクルセンターイベント・みらいっこまつり・ノロウイルス予防啓発ポスター・児童虐待防止推進月間・自転車保険義務化・子育て支援ボランティア募集）

	重点実施項目	実行計画	実施結果
	<p>5. 老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立の防止</p> <p>6. 園行事の地域への開放による地域の活性化と子育て、子育ての支援</p>	<p>5. 地域の老人施設を訪問し、触れ合いあそびや歌などの披露を行い、世代間交流を図る</p> <p>6. 花まつり・七夕会・地藏盆・運動会・もちつき・七草粥・豆まきなど公開行事の実施</p>	<p>5. 老人との交流を図るため、老健施設マリアンヌを訪問した。(9/18)</p> <p>6. すべて実施した。</p>
利用者の視点	<p>1. 教育・保育内容</p> <p>①教育保育要領・保育指針に基づく保育の計画と評価の実施</p> <p>②小学校へつなげる保育</p> <p>③障害児保育の実施</p> <p>④伝統行事や文化行事を通して人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体教育」の実施</p> <p>⑤子どもと保護者のふれあいを図る行事の実施</p> <p>⑥保護者への保育内容周知</p> <p>⑦保育教諭の加配</p> <p>⑧虐待児童の早期発見と対応</p> <p>⑨保育環境の充実</p>	<p>①教務部を中心に、保育の計画に基づく保育の実施 保育要録の作成</p> <p>②体操教室を通した体力づくり、英語教室を通した国際理解教育、ワークなどを通した、音声文化から文字文化への移行を図る。保育要録の作成。坐禅の実施。</p> <p>③巡回相談の活用や関係機関との連携を図り、障害の早期発見と早期対応に努める</p> <p>④花まつり・七夕会・お泊り保育・地藏盆・老人施設訪問・運動会・造形展・成道会坐禅会・もちつき・七草粥・雪あそび・豆まき・涅槃会坐禅会などの実施</p> <p>⑤親子で参加する一日遠足の実施</p> <p>⑥入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布ホームページ・まちcomiによる情報提示</p> <p>⑦4月当初で障害児加配2名、チーム加配1名配置</p> <p>⑧毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、保健センター等、専門機関との連携</p> <p>⑨保育の充実を図るための保育備品や</p>	<p>1.</p> <p>①実施した。</p> <p>②実施した。 体操教室毎月1回 英語教室毎月2回 坐禅会 毎月1回 保育要録の作成</p> <p>③障害児3名の保育を実施した。 気になる子の記録を取り、巡回相談を利用し、早期対応に努めた。</p> <p>④すべて実施した</p> <p>⑤実施した。(5/17) 西京極運動公園</p> <p>⑥実施した。</p> <p>⑦4月当初で1名加配した。</p> <p>⑧実施した。</p> <p>⑨玩具・絵本などを購入し、充実を</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
	⑤安全指導と不測の事態への対応	⑤各種マニュアルの見直し（不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応）の見直し、充足を図る	⑤各種マニュアルの見直しを図り、必要に応じ修正を行った ・不審者対応…警察に来てもらい、不審者と対峙するのではなく、侵入されないようにし、警察へ連絡する。と指導を受け、見直しをした。 ・アレルギー児一覧を写真付きに改善した。 ・洪水に関する避難確保計画を作成した。
利用者の視点	3. 保護者支援		
	①園と家庭の相互連絡の充実	①連絡帳の利用、園だより、クラスだより、まち comi メール、ホームページによる情報提示、子どもの送迎時の対応、苦情相談の受付など	①園だより、クラスだよりは12回発行した。 まち comi メール、ホームページでの情報開示を随時実施した。
	②1号認定の受け入れを図る	②4月3歳児1名、4歳児1名の計2名を受け入れる予定ホームページ等を通じて、1号認定を知らない保護者への啓蒙を行う。	②4月より3歳児1名、4歳児1名の計2名を受け入れた。 見学時に啓発を行い、31年度入園希望に1名の申し込みがあった。
	③低年齢児保育の積極的な実施	③受け入れ枠を最大限に広げた0・1歳児の積極的な受け入れ	③0歳児定員12名のところ15名、1歳児定員12名のところ18名を受け入れた
	④働く両親の就労援助	④・預かり保育（1号認定）の実施 1号認定 7:00～9:00・15:30～19:00 ・延長保育（2,3号認定）の実施 保育短時間 7:00～8:30・16:30～19:00 標準時間 18:00～19:00	④預かり保育は延べ196名保育した。 延長保育は延べ3232名保育した。
	⑤安全で安心な遊び場の提供	⑤園庭遊具・施設設備の管理・点検 遊具、設備点検表を作り、毎日・毎月のチェックをする。	⑤毎日の遊具の点検および月2回の設備点検を実施した。
⑥保育サービスの全体的な質の向上を図る	⑥保育教諭、職員の研修の実施 研修部で研修計画を作り実施	⑥接遇の講師を招き、研修会を2日間実施した。 ・2月22日（土） 「日本の社会人としての心構え」 ・3月7日（土） 社会福祉法人道心新人・新任研修	

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点	<p>4. 苦情解決</p> <p>①苦情への適切な対応をはかり、利用者の満足感を高める</p> <p>②利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする</p> <p>③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適性性をはかる</p>	<p>①投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入</p> <p>②苦情解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表。</p> <p>③年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表。</p>	<p>①実施した。 苦情は6件あった。 口頭1件、電話1件、連絡帳・手紙1件、京都市1件、その他2件</p> <p>②実施した。</p> <p>③「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入（6件あり、内容は別紙の通り）</p>
	<p>5. 保幼小連携</p> <p>①子供同士の交流を図る</p> <p>②教職員の交流、情報交換を図る</p> <p>③地域としての取り組みを図る</p>	<p>①条件が整えば、行事や日常保育での交流</p> <p>②条件が整えば、打ち合わせ、保育参観、授業参観、合同研修会などの実施</p> <p>③保幼小が参加した連絡会への参加</p>	<p>①実施できなかった。</p> <p>②小学校の授業参観に出席した。 ・5月13日（月） 京都市立西院小学校 ・5月24日（金） 京都市立葛野小学校</p> <p>③連絡会へは3か所参加した。 その他、電話で連絡会を行った ・5月13日（月） 京都市立西院小学校 ・5月24日（金） 京都市立葛野小学校 ・1月22日（水） 京都市立西京極西小学校</p>
財務の視点	<p>1. 園舎内外の不具合部の修繕</p> <p>2. 計画的な保育備品購入</p>	<p>1. 毎月と年度末に修繕個所の調査</p> <p>2. ①絵本・玩具の購入 ②画用紙棚及び乾燥棚の購入 ③楽器の充足</p>	<p>1. 実施した。必要に応じ玄関扉・1歳児シューズボックス扉・冷凍機・外階段・自動ドア・火災受信機・外トイレ水周りの修繕を実施した。</p> <p>2. 玩具、絵本を購入し、充足を図った。 <玩具> ・LaQベーシック 2400 カラーズ ・キッチン&ランドリー1セット ・ドクターケース 2セット ・プレイキッチン コンロ1セット ・ // テーブル1セット</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
財務の視点			<ul style="list-style-type: none"> ・パーティクイーンニュー ・シチューパン1セット ・ // ニューコーヒーカップ1セット ・ // ニュー大皿1セット ・みんなであそべるあかちゃん人形1セット ・おままごと ダンボールキッチン2個 ・パーティクイーン ケトル1セット ・ // ニューシチューパン1セット ・ // ニューフライパン1セット ・ // ニューコーヒーカップ1セット ・ // ニュー大皿1セット ・ // ニュー小皿1セット <p><紙芝居></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話シリーズ1セット ・世界のお話シリーズ1セット ・赤ちゃん紙芝居1セット
	3. 施設設備強化	<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公用車（軽トラック）の購入 ②非常階段のひび割れ修繕 ③災害備蓄品（発電機・非常食など）購入 <p>④門前の園名プレートの変更</p> <p>⑤事務用チェスト購入</p>	<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> ①購入した。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月30日 ダイハツスクラム1台 890,432円 ②「京都市被災民間社会福祉施設等災害復旧費補助金」を利用し修繕した。 ③「京都市施設機能強化推進費加算補助」を利用し購入した。 <ul style="list-style-type: none"> ・担架1台 ・ほほえみらくらくキューブ 48袋 ・ほほえみらくらくミルク 12本 ・災害食・安心缶 豚汁 6缶 ・安心米わかめご飯 100袋 ④実施出来なかった。 ⑤3台購入した。

	重点実施項目	実行計画	実施結果
財務の視点	<p>4. 経費削減対策</p> <p>5. 財務諸表による経営状態の把握</p> <p>6. 職員の処遇改善</p>	<p>4. コピー・水道・電気などの節約に取り組む。</p> <p>5. 専門家の指導を受け、財務分析を受ける</p> <p>6. 園および市の基準に基づき、処遇改善手当の支給</p>	<p>4. コピーは使用枚数を管理し、モノクロで印刷する等職員全員で節約意識をもって取り組んだ。</p> <p>5. ゆびすい会計センターによる財務分析を受け良好であった。</p> <p>6. 年度末の処遇改善Ⅰは常勤 17 人中 17 人。非常勤 18 人中 10 人実施した。キャリアアップ該当者の処遇改善Ⅱは常勤 17 人中 16 人。非常勤 18 人中 1 人実施した。</p>
業務プロセスの視点	<p>1. 業務改善取組の構築</p> <p>2. 危機管理マニュアルの見直しと点検</p> <p>3. PC 管理の確立</p> <p>4. 各部計画の見直しと点検</p> <p>5. 勤怠管理システムの導入</p> <p>6. 人事給与システムの導入</p>	<p>1. ①各部・各係のマニュアルの見直し、PDCAの作成と更なる深化 ②園務分掌の検討</p> <p>2. 各種マニュアルの見直し（不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応）の見直し、充足を図る</p> <p>3. フォルダリングによる個人情報の管理の徹底 各クラスへの PC・USB メモリー配布およびセキュリティ対策</p> <p>4. 防災避難訓練計画の見直し</p> <p>5. 客観的な勤怠管理を実施し、適正な労働時間の管理を図る</p> <p>6. システムを導入し、適切な給与管理を図る</p>	<p>1. 実施した。各分掌のマニュアルを作り、昨年とは異なる PDCA を作成し日々の保育に活用しやすく、次の人へ引継ぎしやすくした。</p> <p>2. 各種マニュアルの見直しを図り、必要に応じ修正を行った。 ・不審者対応…警察に来てもらい、不審者と対峙するのではなく、侵入されないようにし、警察へ連絡する。と指導を受け、見直しをした。 ・アレルギー児一覧を写真付きに改善した。 ・洪水に関する避難確保計画を作成した。</p> <p>3. 個人情報データはパスワード設定し、各種ファイルは、フォルダリングし、定期的にバックアップを行い、管理を徹底した。</p> <p>4. 各クラス反省を記入し、その後全ての職員が反省を閲覧するように徹底した。</p> <p>5. 試験段階であるが実施した。</p> <p>6. 導入できた。</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
人材育成の視点	1. 離職防止策を図る	1. 様々な勤務形態を考慮した働きやすい職場づくり	1. 月単位変形労働制の勤務時間に基づき、土曜日の過剰な出勤を抑えた。また、シフト作成時に土曜日出勤の付加が必要な時には、指定休暇を与え、調整した。
	2. 職員の資質向上を図る	2. 分掌、各自の課題に即した研修（キャリアアップ研修含む）の設定および積極的参加	2. 実施した。 キャリアアップ受講者 合計7名 ・幼児教育・保育…2名 ・乳児保育…2名 ・障害児保育…1名 ・保護者支援・子育て支援…1名 ・食育・アレルギー対応…1名 その他の研修 61回参加
	3. 園内研修の充実	3. 専門の講師の研修（接遇研修・普通救命講習Ⅲなど）を受ける	3. 接遇・社会人の心構えについて講師を招き、研修会を2日間実施した。 ・2月22日（土） 「日本の社会人としての心構え」 ・3月7日（土） 社会福祉法人道心新人・新任研修
	4. 人材の確保を図る	4. 人材派遣会社を利用することのない、積極的な就職フェアの参加やハローワークでの求人、養成校への求人票の送付などを実施	4. ハローワークの求人票内容の加筆やハローワーク主催の登録者への求人票配布などの機能を活用を行い、積極的に求人活動を行った。 ・5月11日（土）「第3回京都認定こども園 就職フェア 2019in みやこめっせ」新卒一人採用した。 ・9月22日（土）「BABY JOB 保育士就職・転職フェア」 ・9月29日（日）「保育士バンク就職フェア」
	5. 職務内容に応じた給与システムの検討	5. 職能等級規程による人事考課の実施	5. 人事考課を実施し、適正な評価を行った。（3回）